

雜 錄

目 次

大東亞戦争日記……………	477
新刊雑誌記事参考目次……………	477
業界雑報……………	479

大東亞戦争日記摘要

- 昭和 18 年 3 月 27 日** 海軍省公表 昭和 17 年 5 月 31 日豪洲シドニー港及びマダガスカル島デイゴ・スワレス灣の英國艦隊奇襲に成功せる第二次特別攻撃隊員 10 名の二階級進級発表せらる。任海軍中佐 海軍大尉 秋枝三郎, 同中馬兼四, 同松尾敬宇, 任海軍少佐 海軍中尉 伴勝久, 任海軍大尉 海軍少尉, 岩瀬勝輔, 任海軍特務少尉 海軍一等兵曹 竹本正巳, 同大森猛, 同芦邊守, 任海軍兵曹長 海軍二等兵曹 高田高三, 同都竹正雄
- 昭和 18 年 3 月 29 日** 大本營発表 1. 帝國海軍航空部隊は 3 月 28 日ニューギニア島, オロ灣を攻撃, 上空警戒中の敵戦闘機群と交戦その 19 機を撃墜, 更に 8000 噸級輸送船 1 隻, 5000 噸級輸送船 隻, 驅逐艦 1 隻, 哨戒艇 1 隻を撃沈せり。我方の損害自爆及未歸還 3 機, 2. 帝國海軍部隊は 3 月 27 日熱田島西方海面を行動中の巡洋艦 2 隻及驅逐艦數隻よりなる敵艦隊を發見直ちにこれを追撃甲巡 1 隻に大損害を與へ, 乙巡 1 隻, 驅逐艦 1 隻を小破せしめたる後敵を東方に潰走せしめた。3. 帝國海軍部隊及海軍機は 3 月 15 日より同月 27 日迄に敵潜水艦 4 隻を撃沈した。
- 昭和 18 年 3 月 30 日** 大本營発表 帝國陸軍航空部隊は 3 月 27 日チャッタゴン南方 100 キロ, コックスバザー及モンドウ附近の敵船舶を攻撃し, 1000 噸級敵輸送船 5 隻, 500 噸級 6 隻に大損害を與へた外, コックスバザー埠頭を爆砕し, 遊撃して來た敵發行機 6 機を撃墜した。
- 昭和 18 年 4 月 1 日** 情報局発表 東條總理大臣は滿洲國皇帝陛下の御機嫌を奉伺し, 同國の過去 10 年間に於ける飛躍的發展を祝福し且つ大東亞戦争勃發以來寄せられつゝある。全面的協力に謝意を表すると共に同國首腦部と親しく懇談を遂げ併せて現地諸機關の狀況視察を行ふため昨 31 日東京發本 1 日午後 3 時 45 分新京に到着した。
- 昭和 18 年 4 月 3 日** 大本營発表 帝國海軍航空部隊は 4 月 1 日ソロモン群島ルツセル島方面に進撃, 敵戦闘機群を捕捉し, その 47 機を撃墜した。我方の損害自爆及未歸還 9 機。
- 昭和 18 年 4 月 8 日** 1. 國府わが支援に答禮のため特派大使陳公博氏を派遣す, 2 帝國陸軍部隊は印緬國境附近アキヤブ北方地區に占據し, 昨年 12 月下旬以來英印軍二個師團の攻撃を撃砕しつゝありしが, 3 月上旬攻勢に轉じ大包圍作戰に依りマニ河畔敵主力を捕捉撃滅し殘敵掃蕩中にて米英反攻ビルマ奪回の夢粉碎せらる。
- 昭和 18 年 4 月 9 日** 大本營発表 帝國海軍航空部隊は 4 月 7 日大舉ソロモン群島フロリダ島方面の敵艦船を強襲し。巡洋艦 1 隻, 驅逐艦 1 隻, 輸送船 11 隻を撃沈, 輸送船 2 隻を大破 1 隻を小破し, 敵機 37 機を撃墜した。我方の損害自爆 6 機。(本海戦をフロリダ島沖海戦と呼稱す)

3 月中開催工業品規格統一調査會名並に其の議題……………	481
------------------------------	-----

昭和 18 年 4 月 13 日 大本營発表 1. 帝國海軍航空部隊は 4 月 11 日ニューギニア, オロ灣方面の敵艦船及び航空機群を攻撃し輸送船 3 隻, 驅逐艦 1 隻を撃沈, 戦闘機 21 機を撃墜した。我方の損害自爆及未歸還 6 機, 2. 帝國海軍航空部隊は 4 月 12 日ポートモレスビーを攻撃し, 輸送船 1 隻を撃沈, 敵機 28 機を撃墜, 大型小型 10 數機を地上撃破し, 又軍事施設兵舎等を撃碎した。我方自爆 5 機。

昭和 18 年 4 月 16 日 大本營発表 帝國海軍航空部隊は 4 月 14 日敵輸送船團のニューギニア, ミルン灣來着を偵知し, 大舉之を襲ひ。

撃沈 輸送船 4 隻, 大破炎上後沈没 輸送船 7 隻, 撃破小艦艇數隻 撃墜 44 機, 地上撃破 10 數機, 其の他軍事施設 5 箇所爆破炎上, 我方の損害自爆 5 機。

新刊雑誌記事参考目次

航空研究所報告 第 18 卷 第 12 册 第 242 號 昭和 17 年 10 月 氣管内燃燒瓦斯溫度に關する實驗的研究 栗野誠一, 中島桂太郎, 河村龍郎	
地質調査所彙報 第 106 號 康徳 9 年 6 月 1 日 櫻桃園東方揚耳山地域の縞狀鐵鑛と其の粘結構造に就いて 淺野 五郎 1	
鑛石中の鑛物結晶粒子の大きさに就いて 仲澤 雪男 23	
豆満層の地質時代に就いて 港 正雄 47	
地質調査所彙報 第 107 號 康徳 9 年 12 月 1 日 北票炭田及び其の周邊に發達する中世層の一二の事實に就いて 西田 彰一 1	
鹿道のサイエル岩と高寺臺の蛇紋岩との化學成分 淺野五郎, 山上登志雄 52	
選鑛顯微鏡的研究に就いて 中澤 雪男 59	
化學研究報告 第 10 號 昭和 17 年 6 月 魚油とエチルアルコールとの反應に就いて(補遺) 松本常太郎 11	
伊豆大島産椿油の特數 同 13	
烏欖油の特數 同 14	
猪油の特數 同 15	
化學研究報告 第 6 號 昭和 17 年 5 月 糠油の精製 第一アルカリ中和法 松本常太郎 1	
同 第二報有機溶材併用アルカリ中和法 同 6	
同 第三報溶劑に依る遊離酸除去方法 同 8	
同 第四報減壓加熱蒸氣に依る遊離酸除去方法同 14	
同 第五報遊離酸とグリセリンとの化合に依るグリセライドの合成法 松本常太郎 15	